

理事長挨拶



坂内 正夫

独立行政法人情報通信研究機構（NICT）は、情報通信分野を専門とする唯一の公的研究機関として、我が国の経済の成長と発展、豊かで安心・安全な社会の実現の原動力である情報通信技術分野の研究開発を推進するとともに、情報通信事業の振興業務を実施しております。

平成23年4月からスタートした5か年の第3期中期計画では、情報通信技術の研究開発を通じて、現代社会の様々な場面でクローズアップされている少子高齢化や医療や教育、地球環境問題、生活の安心・安全などの課題の解決に貢献すべく、ネットワーク基盤技術、ユニバーサルコミュニケーション基盤技術、未来ICT基盤技術、電磁波センシング基盤技術の研究開発を推進しております。

また、社会からのニーズの高い喫緊の取り組みが必要な課題に対しては、NICT全体で機動的に対応するため、これまで取り組んできた「新世代ネットワーク」、「脳情報融合通信」に加え、平成24年度からは、全く新しい周波数資源として様々な利用展開が期待される「テラヘルツ帯電磁波技術」、そして先の東日本大震災の教訓を踏まえ、災害に強く、かつ、災害時に役立つ情報通信を提供できるようにするための「耐災害ICT」について、分野横断的な連携プロジェクトを立ち上げ、研究開発に積極的に取り組んでおります。

特に、耐災害ICTに関しては、災害に強いICTインフラ構築技術や被災したICTインフラの補完技術、被災状況の速やかな把握と被災地域の支援・復旧に必要な情報提供技術などの研究開発拠点として、東北大学内に耐災害ICT研究センターを発足させ、分野横断的かつ産学官の連携による、災害に強い情報通信技術の構築に向けたプロジェクトを推進しました。東日本大震災からの復興への貢献はもとより、今後予想される大地震に向けて、その成果を一刻も早く社会に展開できるよう、本研究センターを中心として、関係自治体や事業者等との連携をさらに広げ、研究成果を加速することにより、早期の実用化を目指して努力してまいります。

本年報が、NICTをご理解いただく一助として、さらには、産学関係機関との一層の連携にご活用いただければ幸いです。

今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。